



## (株)フェローテック(6890) 2004年3月期決算説明会

当期連結決算においては、連結子会社・持分法適用会社は2003年1月～12月末の業績  
フェローテック単体は、2003年4月～2004年3月末の業績を連結しております。

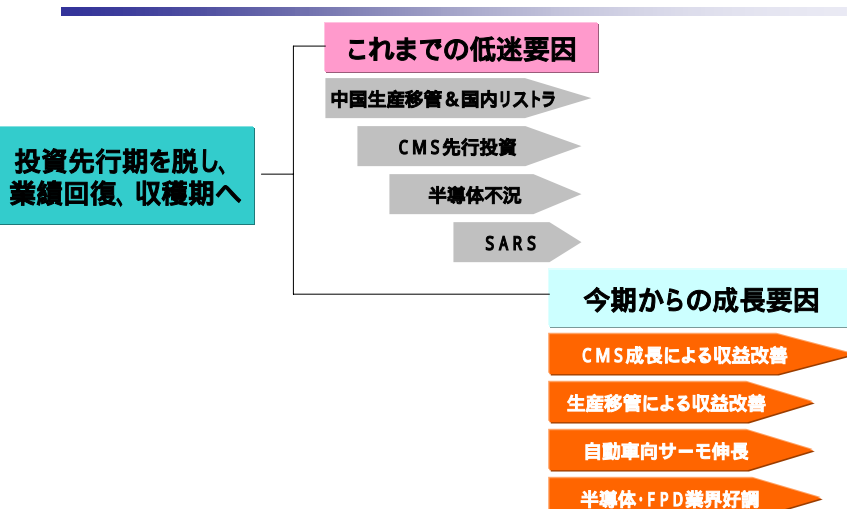
2004年5月31日

<http://www.ferrotec.co.jp/>

本資料は、2004年3月期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、本資料は  
2004年5月30日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測  
等は、資料作成時点の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。

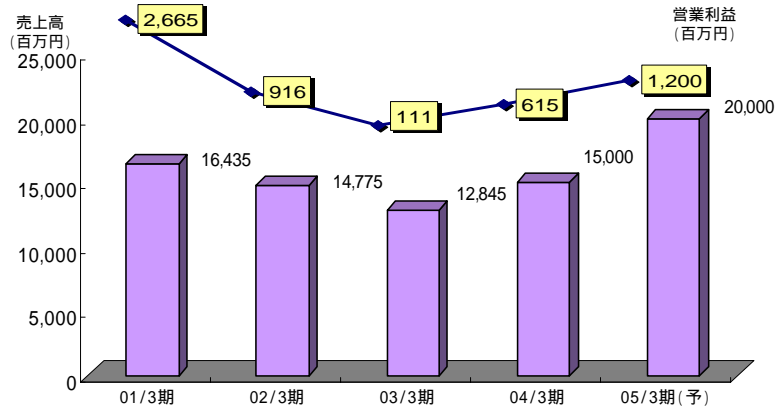


## 新たな成長ステージ





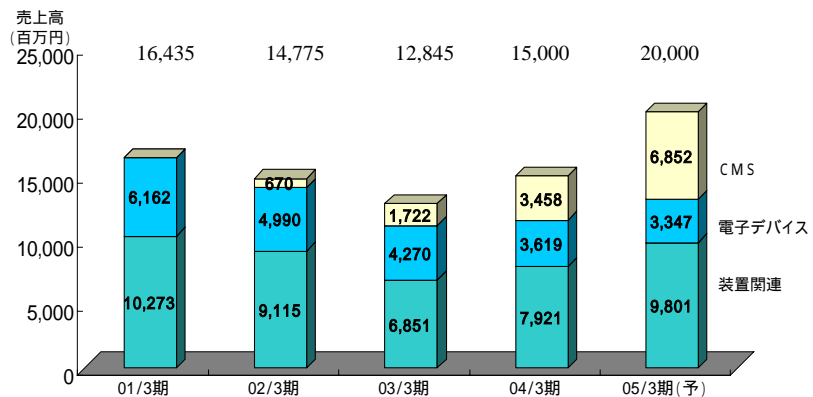
## 売上高と営業利益の推移



2



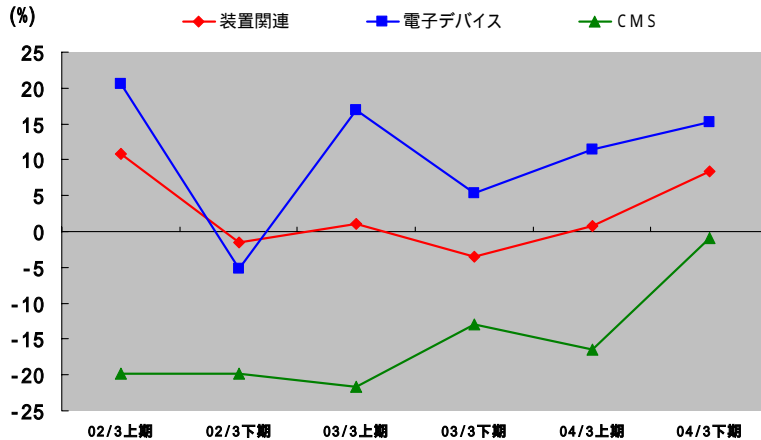
## セグメント別売上高の推移



3



## セグメント別営業利益率の推移

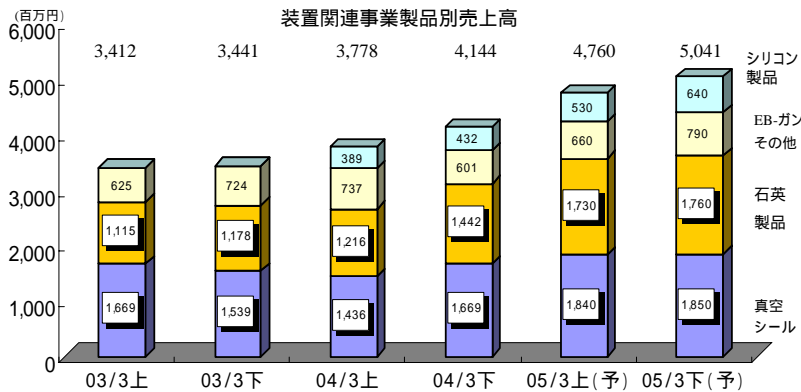


注：現在のセグメントは03年3月期からの採用であり、02年3月期の営業利益率は参考数値。

4



## (1) 装置関連事業



5



# 真空シールの状況と見通し

	04/3期実績		05/3期計画	
通期売上高	3,105百万円		3,680百万円	
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
半期売上高	1,436	1,669	1,830	1,850

## 1. 前期(04/3期)の実績

- 下期は国内のFPD関連需要が好調
- 下半期より米国半導体が回復に転じる

## 2. 今期(05/3期)の計画

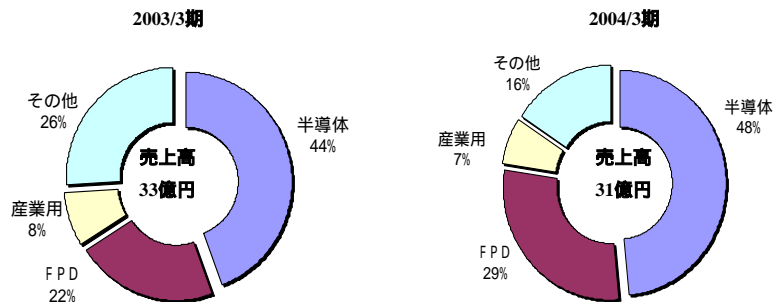
- 半導体製造装置産業が回復
- FPD製造装置向けが引き続き好調  
国内需要に対処し国内工場を拡大
- 半導体ピークアウトは、なだらかと予想



次世代FPD装置に応える  
フェローテック精密



# 真空シールの販売先業種別シェア



注:産業用:産業用真空装置、その他:航空、医療、科学など



## 石英製品の状況と見通し

	04/3期実績		05/3期計画	
通期売上高	2,658百万円		3,490百万円	
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
半期売上高	1,216	1,442	1,730	1,760

### 1. 前期(04/3期)の実績

- 下期後半(10-12月)に半導体が回復
- 単価下落のまま需要増
- 中国移管の完了および海外顧客と取引開始

### 2. 今期(05/3期)の計画

- 業界全体で拡大基調 8"などリピート品も好調
- 300mm製造装置向けがさらに成長
- 生産移管後の収益が好転
- 海外(米国企業)顧客からの受注拡大と新規顧客獲得



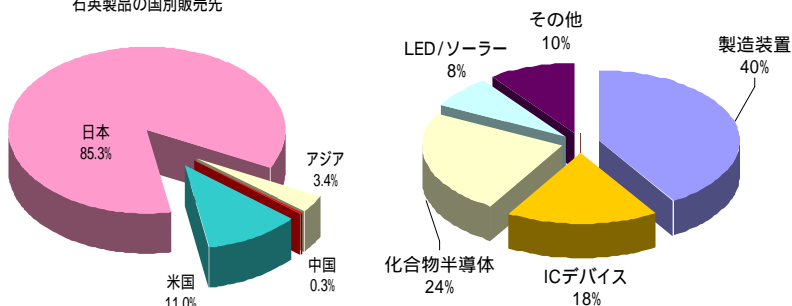
300mmプロセスチューブ

8



## 石英製品の販売先別シェア

石英製品の国別販売先

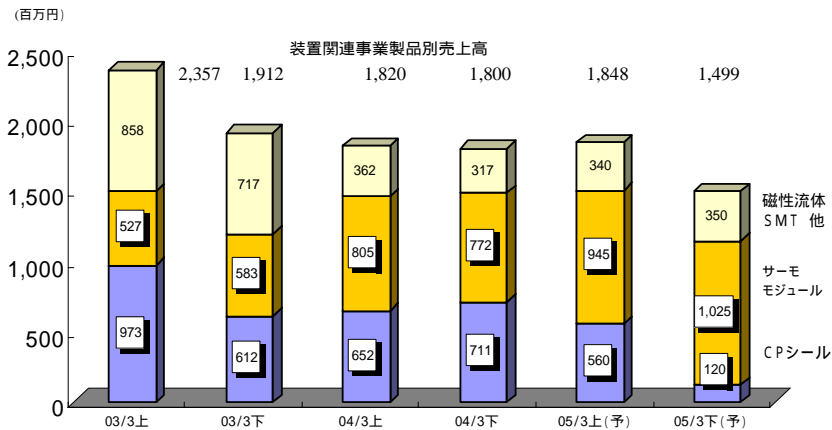


2004/3期 売上高 26億円

9



## (2) 電子デバイス事業



10



## コンピュータシールの状況と見通し

	04/3期実績		05/3期計画	
通期売上高	1,363百万円		680百万円	
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
半期売上高	652	711	560	120

### 1. 前期(04/3期)の実績

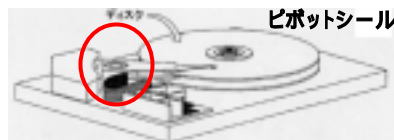
- サーバー向けBBモーター需要が堅調
- FFBは納入先のサンプルテストで高い評価



FFB

### 2. 今期(05/3期)の計画

- BBモーター需要は下期以降FDB化により減少
- HDD各社ピボットシールの評価出荷始まる
- FFBはいよいよ実機テスト段階へ



ピボットシール

11



## サーモモジュールの状況と見通し

	04/3期実績		05/3期計画	
通期売上高	1,571百万円		1,960百万円	
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
半期売上高	805	772	940	1,020

### 1. 前期(04/3期)の実績

- アメリゴン社の生産調整により伸び幅縮小
- 今後の増産を鑑み、生産体制の強化を実施

### 2. 今期(05/3期)の計画

- 米国の新規制(座席の関知装置義務)の影響で、アメリゴンMTMは緩やかな拡大
- エレクトロニクス・パイオ・光学など他社製品から切替
- 生産体制をさらに拡大する計画(竣工05/1予定)

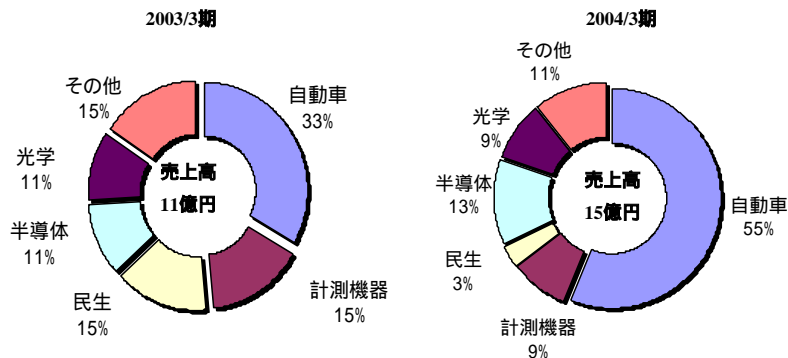


中国杭州の新工場(完成予想図)

12



## サーモモジュールの販売先業種別シェア

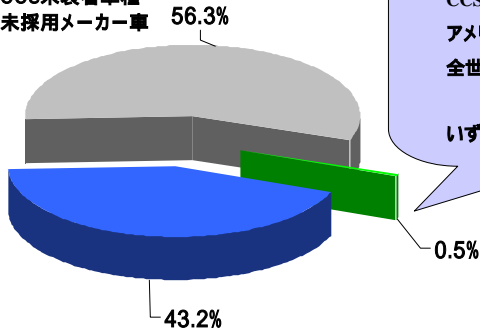


13



## アメリゴン社の温調装置採用状況

- CCS装着車種
- CCS未装着車種
- 未採用メーカー車



世界乗用車メーカー生産台数: 4.2百万台  
 CCS採用メーカーの生産台数: 1.8百万台  
 アメリゴン社CCS出荷数実績: 約2.2万台分  
 全世界での装着率: 0.5% (前年の2倍)

いずれも2003年度の発表数字

マーケットポテンシャルは大きい

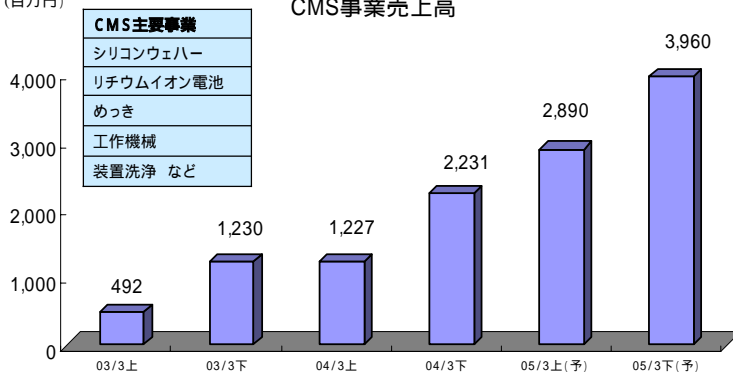
アメリゴン社HP情報を元に会社作成  
<http://www.amerigon.com/default.htm>



## (3) CMS事業

(百万円)

CMS事業売上高



CMS主要事業	
シリコンウェハー	
リチウムイオン電池	
めっき	
工作機械	
装置洗浄 など	



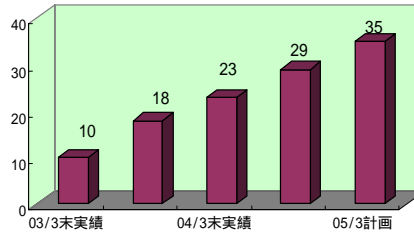


## CMSの状況と見通し

	04/3期実績		05/3期計画	
通期売上高	3,458百万円		6,850百万円	
	上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
半期売上高	1,227	2,231	2,890	3,960

- 前期(04/3期)の実績
  - SARSの影響収束後は順調に拡大
  - 4Q月次ベースで黒字転換
- 今期(05/3期)の計画
  - ウェーハ加工が拡大、下期フル操業へ
  - Li二次電池パッケージングも順調に成長
  - 全体に収益改善、上半期から黒字継続

(万枚) 月間ウェーハ加工枚数



16



## 半導体ビジネスへの関わり

主要プロセス	ウェーハ製造			ウェーハプロセス		組立	検査	製造装置メンテナンス
主な工程	多結晶シリコン製造	単結晶シリコン引上	スライス・研磨	洗浄～成膜～リソグラフィ～洗浄～イオン注入～成膜～配線～検査	ダイシング～マウント～ボンディング～封印		検査	使用頻度に応じて随時部品交換・成膜装置洗浄
当社の製品	-	単結晶インゴット製造	スライス・研磨	製造装置用真空シール 石英製品	温度制御用サーモモジュール 石英製品	-	-	補修パーツ 真空シール 石英製品
								製造装置の機能部品洗浄

中国における半導体製造の  
トータルサポートが完成

17



## 研究開発

- FFBの量産技術開発(継続中)
- サーマモジュール 高性能材料の開発
  - 発電用サーモモジュール
  - 省電力型サーモモジュール



ルーマニア開発チーム

18



## 補足資料

IR担当連絡先

フェローテック総務部 広報課

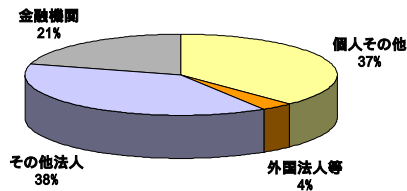
電話 3281-8186 FAX 3281-8160

本資料の原本は弊社ホームページでご覧になれます



## 会社概要

商号： (株)フェローテック (英訳名) Ferrotec Corporation  
設立： 1980年9月 (店頭登録 1996年10月)  
役員： 代表取締役 山村 章  
取締役 賀 賢漢、福井 徹、神野公行、吉田 勝、椿 勲  
常勤監査役 松井宏之、監査役 中元紘一郎、木下 隆博  
従業員数： 単体124名 連結3,120名  
資本金： 58億2,490万円 (期末発行済株式数: 17,251,325株)  
大株主： 三井物産16.23%、小松製作所10.55%、クボタ6.96%、  
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)5.12%、山村章4.66%  
株主数： 4,943名  
株主構成：



20



## 会社沿革

1980年: 米国フェローフレイディクス社の日本販売子会社として設立  
1983年: 日本国内で磁性流体応用製品の製造を開始  
1987年: 米国本社より全株式を取得し独立(MBO)  
1988年: 国産磁性流体の製造開始  
1992年: 中国に中国現法設立し、サーモジュール・コンピュータシルを製造開始  
1996年: 店頭公開(IPO)  
1998年: 石英製造会社フェローテックオーツを子会社化  
1999年: フェローテックUSAを友好的TOBで買収  
2001年: コマツグループとの業務提携 / 米国アメリゴン・インコーポレイテッドと業務提携  
2002年: フェローテックシリコンを株式交換にて子会社化  
三菱電線工業と共同出資でダイヤセルテックを設立  
フェローテックシリコンを通じて大阪特殊合金のシリコンウェーハ事業を買収  
欧州の研究開発拠点、フェローテック・エンジニアリング・ルーマニアを設立  
2003年: フェローテック精密とフェローコムが合併

21



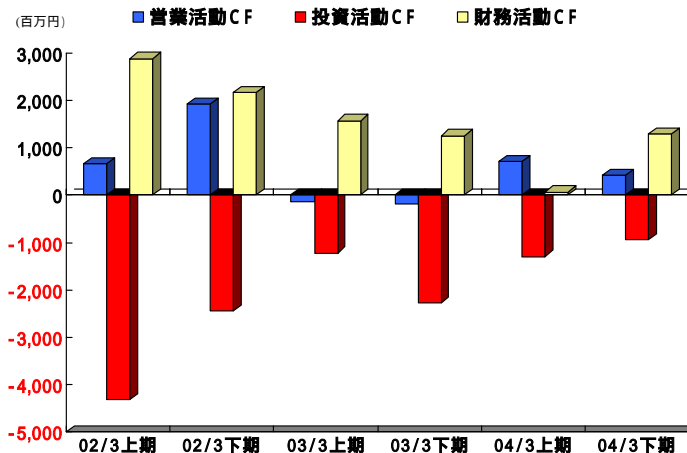
## 連結会社情報

### 連結子会社11社

(株)フェロテック精密	(真空シールの国内生産拠点)
(株)フェロテックオーツ	(石英製品製造販売、国内に2工場保有)
(株)フェロテックシリコン	(単結晶シリコン引上、シリコンウェーハ加工)
杭州大和熱磁電子有限公司	(自社製品の他、CMS事業の生産拠点)
上海申和熱磁電子有限公司	(CMS事業のシリコン加工・装置洗浄の拠点)
杭州日磁科技工業園産業開発有限公司	(外資企業の中国進出サポート & 自社工場の管理)
Ferrotec Corporation Singapore Pte. Ltd.	(東南アジアの販売拠点)
Ferrotec (USA) Corporation	(米国における製造・販売拠点)
Ferrotec Investments, LLC	(米国の不動産管理会社)
Ferrotec GmbH	(ヨーロッパ販売拠点、4つの販売子会社を有する)
アリオントック株式会社	(石英製品製造)
持分法適用会社2社	
ダイヤセルテック株式会社	(リチウムイオン二次電池販売)
杭州菱日科技有限公司	(リチウムイオン二次電池製造)

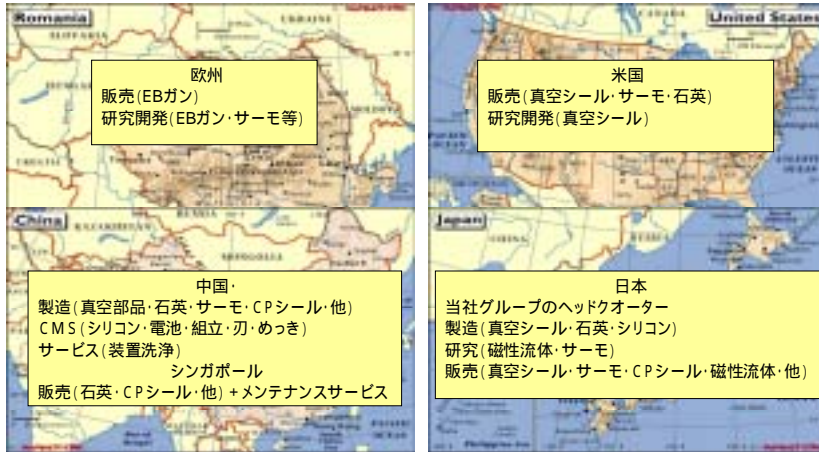


## キャッシュフローの推移





## 各国の事業ポートフォリオ



24



## アメリゴン社の温調装置採用状況

	2002年	2003年	2004年1Q	(万シート)
CCS出荷個数 = シート数	22.5	44.6	14.0	
前期比	-	198%	175%	
<b>1999年の初出荷以来、2004年1Qで累計出荷数100万シートを達成</b> <b>昨年度の出荷数は44.6万シート(乗用車約22万台分)</b>				

アメリゴン社「2002年アニュアルレポート」・「プレスリリース」より

採用メーカー	採用車種	採用5メーカーの乗用車生産台数装着率 1%	乗用車生産台数	(万台)
トヨタ	レクサス LS 430, セルシオ		556	
GM	Cadillac XLR, Cadillac Escalade, Mercury Monterey, Cadillac Deville		490	
フォード	Lincoln Navigator SUV, Ford Expedition, Lincoln Aviator, Lincoln LS		361	
日産	インフィニティ M45, インフィニティ Q45, シーマ		216	
ヒュンダイ	Equus		219	
合計(2002年:OICAのHPより)			4,217	

25



# ハイテク産業を支える技術の集積

